

2023年4月30日

マンスリーレポートNo.8

プラネタリウム 100 周年記念事業

～地上の星空 ドイツに生まれて1世紀～

みなさま、こんにちは。

コスモプラネタリウム渋谷の永田です。

ゴールデンウィーク中はプラネタリウムに来館される方も多くみなさまもお忙しいと思います。

そんな忙しい時だからこそ、星を見上げることは大切ですね。

私がいるコスモプラネタリウム渋谷では窓から見える夕焼けや月、雨上がりの虹などスタッフが美しい風景を見つけるとみんなで入れ替わり屋上に出たり、窓辺で写真を撮ったりします。

美しい風景を見た後の投影は、何となく温かくなりますので、みなさんも忙しい時はちょっと空を眺めてみてくださいね。

それでは今月もレポートいってみましょう！

永田美絵

今回のもくじです

- プラネタリウム投影機&施設外観の写真 大募集中！
- 科学技術週間「一家に1枚ポスター」今年は・・・
- 祝！大阪市立電気科学館 プラネタリウム日本天文遺産認定
- プラネタリウムに関する記事
- 公認企画の一覧に Google Maps の表示追加

.....
■プラネタリウム投影機&施設外観の写真 大募集中！

(担当 西野藍子 井上タクミ 野村美月)

JPA メーリングリスト等で何度かお願いのご連絡をさせていただいております、100周年記念の日本版プロモーション映像に掲載する投影機&施設写真を、まだまだ募集中です！！

【5月2日(火)】までにご連絡いただいた施設様の写真は、JPA 倉敷大会でお披露目する映像に入れさせていただきます！まだの施設の皆さま！ぜひ、お急ぎください！！

ご連絡方法は、[JPAML:02722]及び[JPAML:02723]のメールをいま一度ご確認くださいませ。

日本国内に魅力的なプラネタリウム施設がこんなにたくさんあるということを広くアピールしていきたいと思っておりますので、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

100周年記念映像を、ぜひ皆さま一緒に作り上げましょう！！

■科学技術週間「一家に1枚ポスター」今年は・・・

(担当:実行委員長 井上毅)

科学技術週間「一家に1枚ポスター」、今年は「ウィルス」でした。

実は、100周年実行委員会として、「一家に1枚プラネタリウム」を文部科学省に提案していました。昨年7月のことです。一次審査は見事通過して、2次審査のオンライン面接に進み、私・井上はかなり気合を入れてプレゼンしました。反応も上々。これは手ごたえあり！と思っていたのですが、残念ながら採用されませんでした。どんな案が来るのかと思っていたら、「ウィルス」、…、うーむ。タイミング的には仕方ない、…かな、…、と思いながら、もしかして、来年に再チャレンジしたらもしかして目があるかも、…などと考えを巡らせています。はてどうしましょうか。さて、プラネタリウム100周年、メディアからの問い合わせが増えています。日本での第0期(2022年6月～23年5月)の目的は周知。ご協力に感謝します。一定の目標は達成できつつあると思いますが、まだまだ頑張ります！

第1期(23年6月～24年5月)の大きなヤマは10月21日！ドイツで式典が予定されていますが、日本時間夜には日本全国一斉イベントの開催に向けて準備中です。詳細は6月の倉敷大会でお知らせします。倉敷大会では記念セッションもありますのでお楽しみに！

■祝！大阪市立電気科学館 プラネタリウム日本天文遺産認定

(担当:実行委員長 井上毅)

「日本天文遺産」は、日本における天文学(暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物を日本天文遺産として認定するものとして、日本天文学会が設けている認定制度です。第5回(2022年度)には、大阪市立電気科学館プラネタリウムが選出されました。プラネタリウム100周年のとても良いニュースになりました。大阪市立電気科学館は、1937(昭和12)年3月に開館しました。カールツァイスⅡ型プラネタリウム投影機を設置し、日本で初めてのプラネタリウムとして、1989年に引退するまでの52年間稼働。引退後は、大阪市立科学館で展示されています。

詳しくは後述の嘉数次人さんの記事をごらんください。

■プラネタリウムに関する記事

(担当:実行委員長 井上毅)

日本天文学会 天文月報 4月号、5月号にプラネタリウムの特集記事が掲載されました。いずれも蔵出しで、どなたでも閲覧できます。ぜひご活用ください。

4月号 特集:プラネタリウム 100周年(1)

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/2023/entry872.html>

巻頭言 プラネタリウム 100周年にむけて 毛利勝廣

JPA 毛利理事長(名古屋市科学館)による巻頭言。世界中にプラネタリウムが広がった背景にあるものとは？

プラネタリウムの発明と日本でのはじまり 井上毅

近代プラネタリウムの誕生のエピソード。心を込めて書きました。ぜひご参照ください。

日本最初のプラネタリウムとその活動 嘉数次人

天文遺産に認定された大阪市立電気科学館の「ツァイスⅡ型」を深く知る文献。時代を超えて通じる大切なものを学べます。

5月号 特集:プラネタリウム 100周年(2)

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/2023/entry877.html>

プラネタリウムにおける映像表現の最前線 上坂浩光

プラネタリウム全天周映像の歴史と上坂監督による作品作りの神髄です。

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/116-5_230.pdf

プラネタリウム 100周年と天文学の発展 縣秀彦・伊東昌市

国立天文台の縣秀彦先生と世界のショー伊東による 100年レビュー。天文学者に向けたメッセージはプラネタリウム担当者にも考えさせられます。

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/116-5_241.pdf

すべての人に星空を—「病院がプラネタリウム」の実践

高橋真理子・跡部浩一

とにかくお読みください！ 星を伝える原点がここに。

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/116-5_248.pdf

■公認企画の一覧に Google Maps の表示を追加しました(担当 鈴木裕司、齋藤正晴、西野藍子)

全国各地の公認企画について、ホームページにて表形式で一覧を表示していましたが、場所を把握しやすいように、Google Maps での表示を追加しました。企画の宣伝にご活用ください。

https://100.planetarium.jp/?page_id=1046

なお、住所からの自動判別のため、地図上の位置が多少ズれている場合があります。同一地点で複数の事業がある場合は、重なって表示されます。また、「全国」など具体的な開催地住所がない事業は地図上に表示されていません。あらかじめご了承ください。

以上